

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



特216 38
953 49

同調査資料二三

武藤山治述

金解禁善後處置とは何か

附

ダバーノン卿演説及景氣觀測聲明書
ロイド、ジョージ舊平價金解禁失敗の演説
英國勞働黨内閣公文書
國際聯盟金問題調査特別委員會報告書

國民同志會調查部編

3
16

特 216
953



金解禁善後處置とは何か



目次

金解禁善後處置とは何か……………一

附録

- 一、金と現下の通貨問題に關するダバーノン卿の演説……………一八
- 二、マンチエスター、ガーヂアン紙に掲載されたる
ダバーノン卿の景氣觀測聲明書……………三五
- 三、英國議會に於けるロイド、チョーヂ氏の
金解禁失敗に關する演説……………三九
- 四、舊平價金解禁が輸出貿易の大蹉跌となり
し事を認容せる英國現政府公文書……………四五
- 五、國際聯盟金問題調査特別委員會報告書……………四八

金解禁善後處置とは何か

武藤山治述

頃日「金解禁善後處置」と言ふ言葉が使用されるが、私はその何んの意味なるかを解しない。思ふに此言葉を使用する人々の中には、金解禁の失敗を猶悟り得ない人もあらふ。又其失敗を認めても、こゝまで來たのだから此まゝ行くがよいと思つて居る人もあるが、私はこれ等の人々及び此重大なる政治經濟の問題について研究せらるゝ方々のため、最近英國の輿論が次第に動きつゝあることを示すため、彼の有名なるダバーノン卿のリバプール市商業會議所に於ける「金と現下の通貨問題」に關する演説並にマンチエスター・ガーヂアン紙上に發表されたるダバーノン卿の景氣觀測意見書及び英國議會に於けるロイド・ジョージ氏の金解禁失敗に關する演説及び舊平價解禁が英國輸出貿易に大蹉跌となりたることを認容せる英國現政府の公文書、國際聯盟金問題調査特別委員報告書を譯載して參

考に供することとする。

二

ダバーノン卿は保守黨系の政治家であることより想像すると、舊平價解禁を行つた保守黨自身も其失敗を認むることを示すものである。殊に最近英國政界に行はるゝゴシツフに依ると、保守黨の總裁ボールドウィン氏は今ミドランド銀行の總裁であり、曾て保守黨内閣の大藏大臣を務めたマケンナ氏を訪問して、次の保守黨内閣の大藏大臣たらんことを求めたと傳へられて居る。マケンナ氏は熱烈なる舊平價解禁反對論者であるところより推察すると、是等英國各政黨政治家の意見及び同國政界に於ける噂などから考へ、如何に英國の輿論が動きつゝあるかを知る事が出来る。

英國人の歩みは遅いが、其歩みは常に正しい方に向ふ事に於て何等拘泥しない。英國人のみならず、總じて外國人は其の過ちを過ちとして認めるに躊躇しない。最近彼の有名なるアインシュタイン博士は、米國カーネギー・インスチテュートに於て開かれた物理學者天文學者等の會合に出席し、博士の假説なる宇宙と空間

とは靜的にして均衡を得たるものなりとの主張を放棄せりとのことである。是れ博士が米國の二人の學者、即ちマウント・ウイelson天文臺のエドウィン・ハツブル博士及カリフォルニア・インスチテュート・オブ・テクノロジーの物理學教授ヘーストルマン博士の、宇宙は靜的のものにあらずして断えず發展しつゝあり、又物質は断えず精力に變化しつゝありと言ふ説を聞いた結果であると言はれて居る。我國に於ては昔からの節操觀念を、誤つて人の意見の變更にまで強く及ぼすため、物事の研究進歩の上に大なる障害を爲して居る。

私は國を愛するものは偏見を棄て、此我國家將來に一大影響を及ぼす重大なる經濟政策について慎重に研究し、虚心坦懷此問題を適當に處理せんことを切望する。ダバーノン卿の演説中、

「現今の不況の眞因は誤診され、全然一の商業恐慌として取扱はれて來たが、今回の恐慌の眞相は第一に通貨の恐慌であり、第二は債務の恐慌である。この二つの原因が互ひに入り混つて時局を複雑ならしめ、且又此兩者が貨幣の力と通商

上の障害とに依つて圓滑なる調整を缺き、益々事態を重大化してゐるのである。然るに此難局に際して實に驚くべき一事は、現在一般から好評を以つて迎へらるゝ時局救済策は、總て物資の自由流通上の障害をば益々甚しからしむべきものである。」

と述べ、更らに債務問題に付き次の如く述べて居る。

「今や世界中何處に於ても個人と個人との間に、或は國と國との間に甚だ重い借金の出來て居ることは誰しも承知の事である。」

然るに一般が未だ認識して居らぬ事は、物價の下落、言換へると金の値打の騰貴といふことが債務者の負擔を不相當に増加したことである。」

此點については我國に於ても同様の誤つた考へが一般を支配して居ることが分かる。所謂低物價政策に依り物の値段を極度に叩き下げたことを單純に我經濟生活に良い結果を持ち來すと誤解して居る人が多い（井上藏相の如き其主たる一人である）が、これは借金の方を考へぬ人の片寄つた見解である。

我經濟界の混亂は、借金の値打のみ高められ、物の値段が引下げられたため發生して居るのであつて、世の中に全然借金して居らぬか、又は極めて僅かな借金をして居る人は助かるが、苟も或程度の金を借りて居るものは何れも大混亂に陥らざるを得ない。

金解禁善後處置なるものが益々世の中を不景氣にして、此混亂を強めるものは善後處置でない。民政黨内閣の金解禁善後處置なるものは、病源を見誤つた外科醫が益々誤つた手術を繰返すものに過ぎないことは誠に理の見易きことである。

猶更らにダバーノン卿は、

「其影響經濟界のみに止まらずして、重大なる政治的反響をさへ起して居る。」と言つて、最近獨逸や南米に起つた騷擾や、動亂の如き全くここに原因して居ると述べて居る。

我國に於ても今回の不況の影響を輕視して、民政黨内閣の誤つた經濟政策を唯徹底せしめさへすれば、やがて好況に轉ずる時が來るように簡單に考へて居る人が

多いが、今回の不況は單なる經濟界の問題に止まらずして、國民思想を惡化せしめ、やがては恐るべき結果を發生することを深く憂へねばならぬ。

ダバーノン卿は最後に銀行の破綻避くべからずと斷じ左の如く述べて居る。

「金の値打を引下るの方法を講ぜずんば、支拂の不能到るところに起り全世界に銀行の破綻踵を次いで起るものと余は豫知するものである。實に價格の標準としての金の安定を回復する方法を講ずることが今日根本的に必要なる急務である。」

此點については我國の如き將來の問題にあらずして現在直面しつゝある問題であつて、銀行監督の任に當る大藏大臣こそ最も能く承知して居らるべき筈である。貨幣に關する苦き經驗は、英國人よりも吾々日本人が先覺者である。明治維新以來我國は最も貨幣問題に悩まされた國である。

明治十四年の不換紙幣整理の如き其最大なるものである。左に其經過の概要を述べよう。

明治十四年の紙幣整理は、下落した紙幣の價值をば法律の力に依つて之を人為的に急騰せしめたのであるが、其の結果如何なる變動が吾邦の經濟界に起つたかを表説すると次の通りである。

年 度	東京の 物價指數	年末現在 流通紙幣額	銀貨百圓に對する 紙幣の相場
明治十四年	一五一、九	一五三、三〇二、〇一二圓	一六九、六圓
十五年	一四〇、五	一四三、七四五、三六三	一五七、一
十六年	一一四、一	一三二、二七五、〇一二	一二六、四
十七年	一〇一、九	一二四、三九六、一七五	一〇八、九
十八年	一〇二、八	一二二、一五三、七五七	一〇五、五
十九年	九五、三	一三六、三二八、一〇九	一〇〇、〇

右の通りであつて、その結果紙幣整理の反動は直ちに十四年より現はれ、十五年に至つては紙幣の價值は七分四厘方急騰し、十六年には更に一割九分五厘の暴騰を告げ、翌十七年には一割三分八厘を、十八年には三分一厘を増し、十九年即ち

十四年より六年後に到り、初めて銀貨一〇〇に對する紙幣一〇〇即ちパーに達したのである。言換へると法律の力に依て人爲的に紙幣價值を上げ出してから、評價過重の「圓」は六ヶ年を要して初めて眞の平價に到達したのである。

而して明治十九年に於ける東京の物價は明治十四年に比して三割七分三厘の下落を起して初めて圓價は物價と平衡を保つに到つたのである。

然しながらこの六年間の行程に於ける經濟界の變動は非常なもので、商品の賣行は不良となり、物價逐年の急激なる低落に依り市場は甚だしき不振に陥り、資産は固定し、金融逼迫大となり、十五・十六年には漸時激烈となり、十七年に入ると恐慌其極に達し、商業會社銀行等にて破産する者數知れず、明治十五年に於て五千一百万圓に達した商業會社の資本は、十七年には一千七百万圓、即ち十五年の三分の一にまで激減したのである。この中央及地方の各都市に於ける金融界の激變は農村經濟にも影響せざるを得ずして、明治十四年に於ける全國の土地負債額一億四千万圓なりしもの、同十七年には二億三千三百萬圓に激増し、之に連

れて土地の處分亦激増し、土地の價格は從て大暴落を來たし、四百圓未滿の土地を持つ小農が明治十六年から二十年の五ヶ年に十九萬二千四百人を減じ、四百圓以上の地主も十七年から二十年の四年間に四萬六千三百人、兩者合計で二十三萬八千七百人の地主が其家傳の土地を捨て、しまつたのを見ても、如何に當時の農業恐慌が深刻であつたかを知り得るのである。そして實に慘澹たる農村の爭議や騷擾が明治十六年から十八年にかけて全國に起つたことが記録に誌されてゐるのである。

當時の松方公の紙幣整理事業は成功なりと一般に認められて居るが、今日より見れば松方公の紙幣整理は無益の殺生であつて、斯の如き方法に依らずとも他に方法があつたのである。明治維新の際井上侯爵(當時聞多と稱す)は刺客に襲われ殆んど致命的負傷を全身に蒙つた。當時の外科手術は今日の如く進んで居らなかつた爲め、有り合はせの疊針と苧絲を以て傷口を縫ひ合はせ、焼酎を吹きかけて置いたと傳へられて居る。隨分の荒療治で今日の進んだ外科手術の方法から見れ

ば亂暴驚くべきものであるが、それでも井上侯爵の一命は取止められたから手術は成功だとも言へるが、今日かゝる手術を試みるものはあるまい。

明治十四年の松方公の紙幣整理は當時に於ては成功とも言へるが、今日に於ては他に良法の存することと言はざるを得ぬ。現に松方公御自身、其後明治三十年金本位確立のため行はれた貨幣法改正は、明治十四年の頃採られた方法とは全然異り、當時我國の壹圓は純金二分に下落して居つたから、明治四年制定の貨幣法に定められた壹圓の純金含有量四分とあるを半減して二分に改正され、聊かも舊平價又はそれに近かく改正されずして、全然其時の一圓の紙幣の實價值に改定されたるは、松方公及周圍の人々の貨幣に對する智識經驗の進歩せる御蔭であつて、物價は些の動搖を起さず財界は安定した。これは後の者に取り良い先例である。猶茲に一つ附け加へて置きたいことがある。それは松方公の明治十四年の紙幣整理は亂暴であつたが、銀の連續せる下落により其惡影響は大に緩和されたことである。即ち明治十四年倫敦銀塊相場五一片十六分ノ十一なりしものが、其後漸落

し、明治三十年には二十七片十六分ノ九まで下がつたため、一面紙幣の價格は騰貴したが、當時は事實銀本位同様であつたから、紙幣の價格は數字に現われたほど引上げられたことにならず、後になり銀の下落の影響を受け經濟界は寧ろ振興することとなつたのである。

然るに今回民政黨内閣の金解禁は此松方公の好先例を無視し、下落せる貨幣價値を急激に引上げた爲め、唯さへ財界は一大混亂に陥るべき其ところへ世界的不況の嵐は襲ひ來り、加ふるに隣國支那は銀貨國で銀の暴落のため國內の物價は世界不況の影響を全く蒙らず、輸出に便利なるため我對支貿易は一大障害を受け、就中我重要産業たる生絲は米國に於て支那の競争を受け立つ瀬がなくなつた。

若し讀者諸君が支那に行つて支那人に銀が半値に下がつたと言はれたら支那人は了解しないだらふ。支那は銀本位であるから貨幣としての銀は下がらぬわけである。故に支那人から見れば銀が下がつたのでなく金が上がったので、吾々日本人の方は金本位國であるから銀が下がつたと見るだけで、支那人の見方は別に間

違はないのである。

一一

何れにせよ銀本位國たる支那と金本位國たる日本との間に倍の相違が起つたことは間違がないとすれば、貨幣の位が倍安くなつた支那に對し日本は貨幣の位が倍高くなつたのであるから、金本位國に對して日本の貨幣が左程激變なくとも、支那に對する限り大激變を蒙つたわけで、英米と違ひ支那との貿易關係を重大視せねばならぬ我國の如き國柄で、此の一事を見たゞけでも舊平價解禁など此のまま強行するの不利なることが悟れさうなものである。

濠洲が金輸出再禁止して爲替を下げたから羊毛が安く輸入され、毛織物が廉價になる其結果は彌が上にも國內に於ける絹織物の販路を壓迫する。

金解禁の結果は關稅を一割四五分下げたことになる。其結果は輸入關稅の保護を受けて居る製造業は壓迫を受ける。

かゝる周圍の情勢の變化から見ても、金解禁の我經濟界に及ぼす影響は簡單でない。然るに此複雑せる情勢を無視して、依然として時期を誤つた舊平價解禁政策

を強いて固執し、猶其徹底を期することが金解禁善後處置であると誤診せば、我國は經濟的にも思想的にも取返しが付かぬ羽目に陥ることは極めて明らかである。本書は今や英國の輿論が次第に動きつゝあることを示し、且國際聯盟金問題調査特別委員會報告を見ても、此問題が早晩國際的に解決さるゝ氣運濃厚なる折柄、猶誤つた舊平價解禁政策を固持し無益の殺生を散々行つた後、列國金問題會議が提唱され、我國も之れに参加して折角引上げた貨幣價值の引下げ協議に加はり之に調印するが如き結果に立ち至らざるや、是れ等英國及國際間に起りつゝある貨幣問題の動きを見る時、一層民政黨内閣の輕卒且不用意なる金解禁政策の過ちを痛感せざるを得ない。

私は實業上の智識經驗より經濟問題に對し強ち井上藏相の過失を責めるものではない。人は其信じた所を行ふべきである。故に私は井上藏相が民政黨内閣の大藏大臣となつて、其所信を斷行せられた事に對し何等非難を加へない。人は神でない以上考へ違ひをすることがある。之を實業の場合に就て見れば、實業家は見込違ひ

をすることは往々あるが、一度其過を悟れば電氣の如く駿速に即座に之を改める。若し周囲の事情變化し己れの過失を認めながら猶其過を無理押しするものあればかゝる實業家は決して成功しない。若し此人が會社の社長であれば會社を破綻に導き、株主にも従業員にも大損害を與へるから實業界に於ては最も見切りと言ふことを成功の必要條件とする。政治家だからとて之に變りはない筈である。

今や舊平價解禁の時と方法を得なかつたことに就ては、公平に物事を觀察する人なら何人も認めぬものはない。其失敗を來した原因が世界的不況であらうと、銀の暴落であらうと何であらうと問ふ必要はない。其失敗たることは昨年末來の政界經濟界に曝露されたる事實が雄辯に物語つて居る。此上猶内外の情勢を無視せる經濟政策を強行することは、中押負の碁を早く投げずに最後まで打上げなければ得心せぬのと同じで、國民大多數の不幸これより甚しきはない。尤も世の中には反對の見方をする人もあるが、民政黨内閣延長して金解禁善後處置をやることゝなつた以上其結果は遠からずハツキリするから此點については其成行を見るこ

と、して、序ながら私は井上藏相の常に唱えらるゝ國內の資本が外國に逃避する原因について一言述べることゝする。

井上藏相は資本逃避は反對論者が金輸出再禁止を唱えるため、殊に昨年樞密院に於ける軍縮問題で政變の起りそうな機運の動いたため多額の資本逃避を見るに至つたとは時に高唱せられしが、それなら其後政局安定して逃避せる資本は戻つたかと言ふに、戻らぬのみならず益々逃避する傾向がある。之は何のためであらふか、是れ資本なるものは安全の場所を撰ぶは勿論であるが、同時にそれよりも強く資本を動かすものは有利なる場所を撰ぶことである。

成程井上藏相の言はるゝ通り若し外國爲替が下がるような恐れある場合には、内國の資金を外國へ移すことはあらふ。是は爲替の鞘を利せんとするものゝ行ふことであるが、それよりも國內に在つて相當永い間有利に投資する見込のない時は、資本は一層逃避するものであることを知らねばならぬ。現内閣の財政經濟政策の下には苟も資本家なるものは今後尠くも三・四年は不景氣時代を経過するも

のと達観する。此場合に於て國內に有利に投資の見込みないことを豫測すれば之を外國へ持つて行つて運用することは明かである。即ち政局安定しても相變らず外貨公債や支那の如き有利なる場所へ投資するは當然の成行で、愛國心では資本を束縛することは出来ぬ。故に資本逃避を促進する本家本元は民政黨内閣の誤つた財政經濟政策にあること多きに在ると考へることが正しい解釋であつて、今後も井上藏相は正貨補充のため民間の會社を誘導援助して外資を借入れさせるだろうが、其社債は外國の投資家に利鞘を取られて後から我國の資本家が買戻し來ることとなり、正貨補充の目的も達せず、國內で安く募れるものを無駄の手續料や、高利を外國資本家に拂ふに過ぎぬこととなるは見易いことである。

要するに金解禁善後處置は、先づ金解禁の失敗を認めることでなければならぬ。猶最後に一言する。それは金解禁善後處置について私は強ち平價切り下げを主張して居らぬことである。私は平價を切下げずして爲替統制の方策を講じ、或期間爲替を安いところに統制し國內には物價を高め外國市場には安くして競争に便

利ならしめ、世界不況の嵐の去る時を待ち徐ろに期間を定め舊平價に恢復するも一方法ならんと思つて居る。勿論平價切下げも一方法であり、手取り早い方法であるには違ひないが、要は世界不況の大嵐襲來の時に舊平價解禁のため大動搖を受け悩むところの我國民經濟を救済するのが目的であるから、金解禁善後處置は内外の權威者を集めて其意見を聞き宜しきに從へば可なるわけで、是等は第二義的問題である。要は民政黨内閣の舊平價解禁が失敗であつたこと及び之を強行することが國家社會のため現在及び將來如何に恐るべき惡影響を及ぼすものなるかゞ一日も早く世人に明らかとなる時の來らんことを望んで止まないものである。

附録

一八

一、金と現下の通貨問題に關する

ダバーノン卿の演説

英國リバプール市商業會議所は一九三〇年十一月十四日其年會に、元駐獨英國大使として又貨幣問題の研究家として令名あるダバーノン卿を招じ、現在の世界的不況の原因と其挽回策に付、同卿の信憑するに足る意見を聞くことにした。

則ち當日、主賓として招せられたるダバーノン卿は左記の名士を初め滿堂の實業家の前に於て茲に後記する所の演説を行ひたるが、同演説は、一九三〇年中に英國に於て行はれたる政治家、財政家の多數演説中、最も重要視さるべきものたりとは、英國の權威ある新聞、雜誌の論評せし所である。

當日の來賓中にてダバーノン卿の權威ある意見傾聴の希望を以て列席せし名士に左記の人々あり。

リバプール市長	エドキン・トムソン氏
國會議員	サー・ゼームス・レイノルド氏
リバプール大學副校長	ハザリングトン博士
リバプール船主協會長	ダブリユ・エム・クラーク氏
リバプール大僧正	アール・ダウネイ博士
リバプール運輸會社々長	ジー・シー・ホルトン氏
リバプール税關長	ビー・デー・ラーデ氏
リバプール各國領事團長	アルベルト・ヒリツブ氏
リバプール郵便局長兼 通信監督官	ダブリユ・エム・シムブソン氏
加奈太國商務官	エツチ・エ・スコット氏
リバプール穀物協會長	アレック・スレーター氏
リバプール棉花協會長	ダブリユ・ゼー・ウォルムズレー氏
リバプール食糧品協會長	アール・エフ・ホワイトレー氏
マーゼー船渠及港灣會社總支配人	エー・ビー・ウォルナー氏

一九

等を始めとして有數なる各新聞及雜誌記者多數

× × × × × × ×

ダバーノン卿の演説開始に先ち、リバプール商業會議所會頭アルバート・エックス氏はダバーノン卿の健康を祝して、同卿に就き左の要旨の陳述を爲せり。

『ダバーノン卿は歐洲戰前、既に大なる勳功を國家に致されし人なるが、戰後外交問題を始め通商其他の事項に付最も重大なる國家的危險の秋に當り、卿は戰後第一番の駐獨英國大使たるの重責を受命されたる方なり。』

今や、諸物價の暴落、諸外國に於ける經濟界の混亂、其他各方面に於ける經濟的、政治的不安定等の甚だしきものあること、皆是れ通商上の大敵である。世界的なる之等の不況原因は、悉く一筋の糸に依て貫かれて居ると見らるべきものがある。即ち其根本なる共通の原因は通貨と其統制上の紛糾である。該問題に付て一部の人は其一部分の事情は之を承知してゐる。然しながら多數の者は、知る所極めて少ないのである。ダバーノン卿は、廣く世界の經濟狀況に熟通され、戰後の獨逸に於ける幣制改革の實狀を極め、又「金と通貨との關係並に其國際問題に及ぼす影響」等に付造詣殊に深き人である。

『平和の使』(An Ambassador of Peace)は實に卿の靈筆に成つた名著であつて、戰後列國の諸關係の真相を知る爲めに最も有益な著作であり、卿の觀察が洵に多方面から綜合された信頼すべきものなることを證するものである。

ダバーノン卿は又、昨年南米共和國、數ヶ國へ向け、英國經濟使節團々長として受命せられ、英國と之等諸國間との通商振興に盡され、就中アルゼンチン共和國との特別通商協定に努力されたのである。最近アルゼンチン公使の報告に依れば、右協定は當に上院通過の運びにありとの事である。これは洵に喜ぶべき事である。其他ダバーノン卿が從來公共の爲めに盡されたる功績は極めて多く、同卿が斯の如き公共生活に於ける一大特質とも言ふべき事は、常に對策を抱き、責任を以て其使命を受け、之を達成するの意志と決斷とを以て萬事に成功して來られた事であつて、殊に重要視すべき事は、其成功に要する所の智識を有して居らるゝ事である。』

ダバーノン卿の演説

「金と現下の通貨問題に就て」

現代恐慌の特質

三二

吾々は現在産業、通商並に金融に大影響を起して居る一の甚しい恐慌の眞只中にある。此經濟恐慌は、之を嘗て經驗されたる恐慌に比しては、より以上に甚しきものであるとは言へない。けれども今回の恐慌は前回の諸恐慌とは或點に於て著しく相異つた特質を備へてゐるのである。其特質の一は今回の恐慌が事實上、全世界の産業界に及んで居ることであつて、米國及獨逸に於ける失業状態の如きは實に確知することの出来ぬほどに甚しきものあり、吾英國に於ても失業状態は之等の國以上ならずとも、同等に甚しいものがある事である。特質の其二は今回の經濟恐慌は、全然、物資の欠乏、或は穀物の凶作或は政治上の動亂等より起りたるものにあらずして、農業並に工業共生産充實の時代に惹起してゐるのであつて、何等生産の不足―物資の欠乏といふ事に起因せず、又政治的動亂乃至勞働不安も無いのである。則ち一方に於ては豐作あり、他方に於ては、産業大に發達し

て、生産は前代よりも増加してゐるのである。それが爲めに、生産過剰なりとさへ言ふ皮層的な苦情が出で、居る。けれども、余は、事苟くも主要なる産業と人類の大なる要求とに關する限り、生産過剰といふことに付ては疑を懷く者である。凡そ天惠益々豊かにして、人間の生産力亦愈々其能率を増せば増すほど、――若し吾々にして斯る状態の處理と物資を有効に取扱ふ方法に於て賢明ならば、――それは人類の幸福を増すものである。これは自明のことである。

然るに現在世界の状況は、一方に於ては莫大なる生産ありて市場に溢れ、倉庫に充満して居るに拘はらず、他の一方に於ては、無數に多くの人間が衣食の如き生活必需品にさへ窮乏してゐる事實に直面して、吾々が明かに結論し得る事は、現今の難關が因て來る所は、生産能力の増加といふことよりも物資の流布及交易上の便宜が不充分なると不適當なることに發してゐるといふ事である。則ち今日の販賣難は、之を有らゆる需要が充たされたりといふが如き無法なる推測に歸すべきにあらず、之は右と反對に、物資を欲求する者、即ち有力なる買手が買入れの

手段方法を手にして居らぬといふ事實に歸さねばならぬのである。

現今世界的經濟恐慌の第三特質は吾邦並に諸外國の政治家が、この恐慌に對し何等適當なる救済策を案出し得ず、時局の轉回に全く失敗してゐる事である。

誤れる診斷

何故に斯る失敗を生みしや、余の判斷する所は、世の爲政治家が現今不況の眞因といふものを誤診して居る事である。則ち今日迄この恐慌は全然一の商業恐慌として取扱はれて來たのであるが、今回の恐慌の眞相は第一に通貨の恐慌であり、第二に債務の恐慌であるのであつて、この二原因が互ひに入混じつて時局を複雑ならしめ且つ又此兩者が貨幣の力と通商上の障害とに依つて圓滑なる調整を欠き益々事態を重大化してゐるのである。

然るに、此難局に際して實に驚くべき一事は、現在一般から好評を以て見らるる時局救済策といふものは、總て悉く物資の自由流通上の障害をば益々悪化させ

ることを提唱するものばかりなる事である。假りに物資の自由流通欠除が現今の世界的厄難の全部の原因にあらず、單に一部の原因であるとしても、新たに障害を加ふる事は何等有効なる救済策を提案するものならざる事は明かである。斯る方法に依て若し何等かの救済が得られたとしても、斯る救済や解決は單に一時的で又局部的のものたるに過ぎないのである。依て余は斯の如く通商上更に故障を與ふるが如き事は、恰も、既に既に圓滑なる運轉を爲さざる發動機上に砂を振り掛けるも同様なる事として、之を斷然排斥するのである。更に又現今の深刻なる不況は之を國家財政方面の責任に歸すべきものにあらず、從て此方面よりも救済策は求められないのである。斯の如きお門違ひの方面のみに考慮を勞することは、恰も、他人の的に矢を射當て、その當り數を數へてゐると同様、全く意味のなき事である。

世界金本位の土臺は搖げり

然らば如何にせばこの時局を救済し得べきか、そは明白な事である。通貨と物價とに關して、從來現はれたる變化は、彼此商品の値段が下落せしにあらざして金の價格が騰貴したことである。従て從來の世界金本位の基礎は今や不安定なるものと成つてしまつたのである。假りに、世界列國が金の代りに小麥或は銅、又は棉花をば價格の標準として撰擇するとしたならば、吾々は今諸物價の暴落問題を云々するの要もなく、主要なる日用消耗品物價の著しい安定を見たものと解釋し得るのである。現に、個々の商品を互ひに比べ合はせて見れば、商品各自の卸値段の變化は比較的僅かであつて、何れの商品も、個々の卸値段に於て大變化を來たせしにあらざして、一齊に反落を告げて來たのである。即ち、過去五ヶ年間に大變化を來たしたものは原價採算に依る商品個々の値段にあらざして、其價格を定める尺度となる金そのもの、價値の變化なのであつた。諸君、若し、國際聯盟の財政委員會内に設けられてある金購買力委員會ゴールド・ポウアー・パルティシプ・イン・インターナショナル・エクスチェンジ・カンファレンスの報告書を見らるゝならば、世界の生産と通商の容積並に斯る通商に依て生ずる金融取引の量は毎年貳%乃至

參%の割合で増加してゐることを、諸君は知らるゝであらう。(附録第五、國際聯盟金購買力委員會報告書参照) 然らば、世の中の物價を安定させるには、流通貨幣をも右と同じ割合で増加することが必要である。然るに事實上、通貨の増量は不充分であり、金の供給は年毎に愈々不足を告げて居たのである——而して斯る金の供給不足は、同時に併發した或原因に依り暫時の間隱蔽されてゐた——就中、金の固定的保有ノン・エフ・エグゼクティブ・レザervesから活用的保有エフ・エグゼクティブ・レザervesへの移動に依て著しく隱蔽されて目に見えなかつたのである。けれども今や斯る原因は消滅するであらうと思ふ。

故に、金の供給不足は茲數年内に益々著しくなるであらうし、又金山からの採金量が増加するといふ何等の傾向もなければ、又貨幣以外の用途に對する金の需要が減退することも無いのである。而已ならず、印度は相變らず金を要求して、毎年大凡貳千萬磅(二億圓)、即ち南亞が産出する金の約二分ノ一に相當する金を準備用に國內に蓄藏してゐるのである。斯の故に、現下の世界不況救済實策といふものは、必ずや、金の管理方面、金の用途の大節約、並に現在の金準備を更に

賢明に利用することに於て見出さなければならぬのである。

二八

史に徴するに彼の一八四〇年の『ハンブリー・フォーチース』と稱せられた飢饉恐慌は、濠洲に於ける金山の發見に依て解決されたのであるが、現今、世界が必要としてゐる金は、賢明なる國際的協商さへ實行されるならば、中央銀行の準備積立中に之を發見することが出来る。此方法にして時機を失せず適用さるゝならば、恐らくそれは最も有効なる解決策なりと余は信ずるのである。

債務問題

次に、余は現今恐慌の今一つの原因である所の債務問題に於て述べるに、今や世界中何處に於ても個人と個人との間に、或は國と國との間に甚だ重い借金が出来てゐるのは誰しも承知の事である。然るに、一般が未だ認識して居らぬ事は、物價の下落、言換ると、金の値打の騰貴といふものが、債務者の負擔をば不相當に増加してゐることである。國と國との間の債務決済といふものは、結極、物資の

輸出を以て行はるゝものである。而して、之等の輸出物資が不相當なる安値を以てのみ受入らるゝならば、債務勘定決済に要する金額は堪えきれぬほどの負擔となるのである。尙其上に債務の仕拂をば物資のみを以て行ふべく要求する譯には行かないと同時に、高率なる輸入税といふものがあつて、諸外國よりの物資輸入を妨害してゐるのである。然しながら凡そ、債務者から仕拂を得んとせば、諸君は必竟其債務者が生産する所の物資をば能く賣れるように仕向け以て其仕拂の便宜を計らねばならぬのである。

世の中には、債権者や金貸しにはどんな馬鹿でもなれる——只ぢつと居坐つてゐて、利息や年賦金や或は品物を遮二無二掻き集めればそれで事足りるといふ様な感違ひをして居る者が可成り多いのであるが、之は全然誤つた見方である。過去三千年の長きに亘り、金貸業といふものは世界中での最も甘まい商賣であり來つたのであるが、此商賣は未だに誰でもやれるといふほど廣まり得ないものなのである。世界列國中、吾英國は此商賣にかけては古兵者である。米國は近年やつ

と債權國となつたばかりで、金貨業者としての經驗に欠けて居るのである。三〇

智慧ある債權者は、仕拂は其方法を便利にし、長期に亘る決済に依てのみ得ら

る、事を自覺してゐる。けれども米國は其債務者から米國への輸出品に重税を課して債務の仕拂を妨げ且又金の値打を引上げて之等輸入物資の値段を低落せしめてしまつた。斯くして、米國は二重の方法で債務履行を困難ならしめ益々債務決済失敗の危険を重大化せしめたのである。

不幸にして米國が斯の如き行き方に出でたる結果は、單に其影響經濟界のみに止まらずして重大なる政治的反響をさへ起したのである。最近彼の獨逸と南米に惹起した重大なる政治的事件の如きは、債務者が其生産物を相當なる値段で賣り得ぬことに大部分起因してゐることを余は疑はぬのである。則ち、金を世界の一局部に追込んでしまひたる事、言換ると、金の狀勢管理に於て巧妙を欠いた事が政治的不安の直接原因を爲したのである。吾々英國國民は此問題に深い利害關係を持つて居る。何故なれば、吾々は毎年巨額なる年收を債務國から受入る債權國たる

が故のみにあらずして、吾國製品の販賣は海外貿易の成績如何に依て左右されてゐるからである。今債務國が、其生産品の賣價が一般に下落せしたため其債務仕拂困難となり不安となつて來るならば、當然外國製品の購入などは彼等にとり不可能となる。之等の債務國が、吾英國より物資を買入るようには第一に、買入が容易に出来るの方法をつけてやらねばならない。而してそれには相當なる値段で英國が彼等の生産物を買入れねばならぬのである。印度の場合でも亦濠洲の場合でも、其救済の効果を大ならしめるものは、其生産物の値段を穩當に引上げること、言葉を換へて言へば、金の値打を穩當に引下げることである。

銀行破綻避くべからず

金の値打を引下るの方法が講ぜられずんば仕拂不能到る處に起り、全世界に銀行の破綻踵を次で起るものと余は豫知するものである。實に價格の標準としての金の安定を回復する方法を講ずることが、今日根本的に必要なる急務である。國

際聯盟の金購買力委員會は之を、一國が單獨に實行するよりも、むしろ國際的に聯合して實行すべきであると主張してゐる。余は、時機遲きに過ぎざる以上、右同様の見解を抱くものである。英國政府は、既に發生し且つ更に進行する危険を示しつつある金の値打の過激なる昇騰を抑制することを目的として、時機を失せず、世界の主要なる金使用國及び金保有國と協商を開始するが得策である。斯る有効なる方策を講ぜずば、全世界に亘つて經濟上並に政治上の大破裂が來るであらう。

斯る協商開始を爲すべき國は英國よりも米國であるべきだと諸君は言はれるかも知れない。米國は、其中央金庫に八億磅(八十億圓)に相當する金を保有し、佛國は五ヶ年前の金保有高一億六千萬磅(十六億圓)に比し、現在三億五千萬磅(三十五億圓)の金を保有してゐる。吾英國は一九二五年の保有高と同額なる僅に一億五千萬磅(十五億圓)を保有してゐるのみである。それ故に英國は金の局部的追込や配分偏倚に責任は無い。然しながら余は此際責任問題よりも事實を重要視す

るのであつて責任を何れに歸すべきやを論じることとはしない。吾等の要求する所は救済そのものである。勿論、金を最も多量に保有してゐる此二國は、時局を改善するに最も適任者である事は確に眞實である。米・佛二國は現在、世界に在る金準備總量の二分ノ一以上を保有してゐるのである。實に彼のマイダス王の時代此方、米國が今日體驗してゐるほどの大矛盾は曾て無かつたのである。何故なれば、米國中央銀行の金庫には金貨や金塊が溢れ返つて居るが、ニューヨーク其他の貿易港の倉庫には、小麥や棉花や銅が、動かずに山積されてゐるのである。之等の商品は原價以下ならでは賣れぬのであつて、其譯は恐らく中央銀行の金庫に餘り多量の金が集積されて來たが爲めであると思ふ。調査の結果、若し、現在の金準備本位が價格の安定標準として金を維持することに不適當なることが知られ、又、或國々に於ける金の貯藏や固定が現在の世界不況の主要なる一因たること明かとなるならば、此世界的不景氣を救済する方策を講ずるは難事でない。斷乎たる科學的診斷こそ第一に行はねばならぬ事である。全世界はゼネバの金購買力委

員會が其基礎となるべき調査研究を達成したことを大に多とせねばならぬのである。

斯くも長時間に亘り、免倒なる問題に付専門的な細かな事を述べ、諸君の傾聴を煩はしたことを、余は茲に御詫びする。斯る御話をしたのも、實は救済策の發見に急を要するものがあるからである。今日迄講ぜられた療法は無効であつたのであるから、之と同様なる方法を固持するとも何等有益なる結果が得られるものには無い。従來の救済策といふものは、何れも一の誤つた診斷を基礎としたものであつて、根本の原因を有効に除去せずに、只外面的な徴候に對して姑息なる療法をするばかりであつたのである。諸君にして、或は棉花業に或は小麥業に又其他の諸業に於て市況の好轉を希望され、又運賃の増加を見、通商貿易の振興を望まらば、如何なる他種の方法よりも、此金と通貨問題を解決することに依て、最も確實に又最も速かにそれ等の希望を實現することが出来るのである。

二、マンチエスター・ガーデアン紙に掲載さ

れたるダバーノン卿の景氣觀測聲明書

現今實業界を壓迫しておる所の經濟恐慌は實に有史以來嘗て見ざる最も愚鈍にして又最も徒爾なものである。現在、世間は、僅に金錢上の正しき智識に於て欠陥ある以外には、總て是れ、商業上繁榮利福を齎らすことの出来る時期なることを、有らゆる根本的事情が示してゐるのである。則ち穀類は嘗て無き豊作を示し科學の力は前代未聞の生産力増加を生み、發明の力は産業に新規なる加工方法を生み、以て天然の力に對して人力を大に増加し、費す所愈々少なくて生産する所を益々増加するを得せしめて居るのである。又世界を通じて通商貿易を棄す戰爭は見當らぬ、國際平和事業は或程度の進歩を見せて居り、勞資の關係亦現今は同盟罷工或はロックアウト等に依て、悪化されては居らぬのである。

然るに、債務と、必要な仕拂の方法とを能く調節することを得ざる事の爲め

に、茲に經濟恐慌現はるゝに到り、この生産豊かなる世の中に大衆は飢餓に類し、世間は擧つて沈鬱の氣に壓せられ、斯る時世に如何に處すべきかと全然途方に暮れてゐるのである。

此異常なる現象は何に依て説明出来るかといふに、それは勞力に依て生産されたる物資を取扱ひ又分配する所の方法、機關が全然不十分なる爲めなることが證明されてゐるのである。則ち通貨と信用に依る仕拂の方法が、生産増加の爲めに要求されてゐる額に比し遙に不足してゐることであつて、その爲めに物價の一般的下落を起したのである。之は獨り賣手と買手の關係を攪亂したるに止まらず債務者と債権者間の立場を極めて重大なる危態に類せしめたのである。則ち、彼の物價の安定を目的として採用された所の舊平價金本位は、其最も主要なる仕事に失敗したのである。

今は舊平價金本位が果して最善の解決方法なりしや否やを議論すべき時では無い——或は他種の方法を採用する如き事は到底認容され得なかつた事かも知れ無

いのである——然しながら、金本位制度の最も頑固なる主張家と雖も、舊平價本位への復歸に依て物價の安定を期するには、賢明に且つ巧妙なる處置を要する事を認めてゐるのである。然るに、多くの國々は斯る擧に出でざりし結果、實に重大なる困難を既に惹起し、更に又重大なる困難を經濟的に、政治的に引起しつゝ、あるのである。

目下の所、諸國民は財政上の救治や斯の種の何れも重要性に於ては第二次的な問題を議論しつゝ、あるのみにして、價値の標準安定といふ根本問題の解決を怠つて居るのである。

金の購買價値を引下ぐる事が、彼此商品の物價水準を動かす唯一の力では勿論無い。物價は種々なる勢力に依て影響を受けるものである。然しながら現今に於ては、之等の諸勢力の影響といふものは、仕拂方法の欠乏に依て既に根本的に物價水準が變化せしめられたる、其變化の度合を單に増減しつゝ、あるに過ぎないのである。之等の些細なる原因は恰も水面に見うけらるゝ波動に等しいものである。

則ち目に見ゆるがために、皮層的なる觀察者の注意を引くのであるが、其重大性に於ては對抗すべからざる力を以て、海水全體を動かしてゆく所の水面下の潮流の運動に比ぶれば極めて輕微なものなのである。

故に此不景氣解決策としては、通貨と信用問題の解決に注意を集中するに非ずんば、到底一般に永續的なる救治は求められないのである。些細なる諸點に付ての議論は、現在吾人が窮迫の最大原因除去の解決を見たる時迄之を延期するも何等の危険はない。余の信ずる所に依れば世界の主要なる金貨本位國間に於て聯合して協力行爲に出でんか、直ちに事態を良好することが出来る。而して、價格の標準をば數年前の物價水準に復すならば、物價の不安定の爲めに醸され或は重大化せられし所の政治問題の多くは消滅し得るのである。

世界の主要なる中央銀行にして適當なる決議を行ふならば、現今の世界經濟状態をば一ヶ月にして變化することが出来る。彼等が爲すべき事は、現在の經濟恐慌の基礎的原因が明らかにされたる事を公示し、以てそれを處理する覺悟をする

ことである。

以上

(一九三〇年十二月二十三日 マンチエスター・ガーチアン紙所載)

三、一九三一年二月十二日英國議會に於ける

ロイド・デョーデ氏の金解禁失敗に關する

演說要旨

ロイド・デョーデ氏は、自由黨が今回の議會に提出せし失業問題解決に關する動議に付、政府に對し失業救治策に關する所信を述べ終りたる後、引續き、政府が貨幣政策並に財政經濟政策に付て、常に倫敦銀行業者の鼻息を窺ひ斷乎たる政策に出で得ざるの非を攻撃して全院の注意を促したのである。其演說の概要を述べんに

『從來藏相は、議會に於て歳出上何等の反對を被ることなく、常に國費支辨上大

なる便宜を與へられ居たるに拘はらず、藏相が此種の提案（自由黨提出の失業救済法としての土木事業の大規模なる開始）に對する態度極めて曖昧なりし事は否むべからず。右は藏相が倫敦大銀行業者達を恐れてゐる爲めである。歐洲戦後、倫敦銀行業者が忠告せし政策は事毎に彼等の謬見に基かざるは無い。則ち銀行業者の忠告に成る急激なる通貨收縮政策は誤謬であつて、既に吾産業界に有害なる影響を生んだのである。國民の負擔を徒らに増加しつゝ、ある米國戦債の決済方法の如き亦倫敦銀行業者の忠告に成たものである。更に又急速に舊平價の金解禁を行ひたる事は則ち吾輸出貿易に向つて大打撃を與へたのである。而して今や銀行業者達は彼等の巨大なる勢力を以て、國家の發達に要する事業資金募集を阻止しつゝ、あるのである。事毎に彼等は謬見を提して來たのである。然かる所以は他ならず、要する所、倫敦の大銀行業者達は、マンチエスタ、リーズ、グラスゴー等の如き大工業都市の如く産業なるものに直接接觸すること無く、産業の實際といふものを通じて居らぬが爲めである。彼等が産業

の實情に疎きことは、更に百餘萬人の失業者出でなば、それだけ銀行業は儲かるかの如くに考へて居るのでも分るのである。それに付ては多くの實例を擧げることも出来る。第一に通貨收縮がそれである。金解禁に依る通貨收縮は金利を第一に昇騰したのである、五分で借りた金が現今では六分五厘に相當してゐるのである。これが彼等の忠告であつた。その爲めに産業は大損害を被つたのである。而して現在銀行業者が爲さんとする所は、僅々約 $\frac{3}{4}$ 分の利子を下げんとするのみ、しかも國家開拓事業資金には金融を制限せんとするのである。今、世界を通じての不景氣に付述べんか、之を研究せし者にて、其不況原因の大部分が何れの國に於ても大銀行業者の忠告が然らしめた所の貨幣問題の誤用に基いたものであることを認容せぬ者は一人もないのである。此世界不況は何等物資の欠乏から生じ居るにあらずして、大部分金と銀の誤用に發してゐるのである。之等の貨幣問題の取扱を誤りたる者共が今や政府に如何爲すべきかを忠告するのみならず、實に、吾々が國家的發達事業の提案に對し一目毎に否

決權を振はんとしてゐるのである。

此際、何人と雖も、若し倫敦の大銀行業者に對し不景氣救治の方法を相談せんか、彼等の忠告する事は、豊富潤澤なる物資をして飢餓欠乏する者へと合流するを妨ぐる極めて不自然なる手段を教ふるのみである。

苟も藏相たる者は、大銀行業者の政治的偏見などは割引して考慮すべきである。大銀行業者等は兎角改進黨の政府には反對するのが今日迄の常であつたしかも彼等は一反動政府（保守黨政府のこと——金解禁を行ひたるボルドウィン内閣を意味す、即ち前きの第一次労働黨内閣の後を承けて反動的に出來たるものなればなり）の過失は之を忍受して顧みぬを常とするのである。

余が嘗て藏相當時の經驗を言へば、余とアスクキス首相は相諮て減債基金を増加し國債の償還を行ひ、其償還額は、前きの二内閣藏相が行ひたる額を超過せしに拘はらず、余等は倫敦銀行業者より侮蔑の目を以て睨まれたのである。然るに拘はらず余とアスクキス氏は斷乎として超過所得稅、養老年金制度、其

他の改進黨的諸制度を實施したのである。勿論倫敦銀行業者等は之を否として排斥したのである。

余が當時倫敦銀行區に到るや、大銀行家達は列を成して恰も南極に於けるペンギン鳥の如き服裝と冷淡なる沈黙を以て余を迎へたのである。而して彼等は言つた、英國の資本は海外へ飛び去るであらうと。然るに歐洲戰爭となるや、諸外國は競つて此社會政策を實行した自由貿易國から借金することを喜んだのである。そして、その結果吾々は未だに米國へ金を拂はされてゐるのである。しかも之等の諸國は何れも關稅の牆壁を高め極端なる保護策を取りながら金を吾邦に借りに來たりしに拘はらず吾國は満足して貸付たではないか。余は政府が白氷を履んで歩むが如く、神經過敏たるを止め、又倫敦の大銀行家達の打出す僅かの砲聲に驚きて逸走せざらん事を希望する。回避に依て一時の面倒は之を省くを得ん、されど、苟も改進黨に立つ政府たるもの、いかで彼の白旗の蔭に長く存續するを忍びんや、余は政府に致す、希ふ、大なる襟度を以て大局

に處せよ、政府にして斷乎として行かんか、吾自由黨は喜んで政府を支持せんとするのである。』

四四

因に此議會に於て提出せられたる自由黨年來の失業對策動議は全然労働黨政府の容るゝところとなり、多數決を以て議會を通過し茲に労働黨と自由黨とは失業救済の積極的對策、之を要約すれば、失業労働、失業資金を利用して全國的に道路、港灣、運河、電話、排水事業、住宅改良、殖林業、船渠改良事業の實行に協力すること、なつたのである。而して之に要する莫大なる資金（自由黨案に依れば約二十五億圓）の資源は（一）國費の節約、（二）道路資金、（三）本案に依る改良事業に依て生ずる地價増加に對する土地收益税の三を以てするのである。

四、舊平價金解禁が輸出貿易の大蹉跌とな

りし事を認容せる英國現政府公文書

英國現政府は一九三〇年十二月十八日公布の失業對策に關する公文書中、舊平

價金解禁が英國の生命たる輸出貿易に大蹉跌となりたるの事實を認容せり、右に關する公文の要點を左記すべし。

『一九二九年夏季以來吾邦失業問題の性質は未曾有に深刻なる世界的不況の勃發の爲めに變化を來たせり。一九二〇——一九二一年度の不況（英國は一九二五年に金解禁を行へり）とは異り、實に、過去十二ヶ月間に發生したりしが如き主要商品物價の急激なる暴落は近世經濟史上嘗て見ざる所なり。現今の物價激落は彼の生産費と不調和に暴騰せし物價の反落時期たりし一九二〇——二一年の不況時には全く比較すべからざるほど更に重大なるものなり。主要商品市場に發せし不況は間もなく總べての經濟界に傳播し、更に、其不況はそれに依て發生し始めたる種々の複雑せる要因、例へば、或國々の通貨が外國爲替に於ける價値の低落、財界の破綻、株式取引の混亂と損害、其他通商及企業の致命傷たる不安困憊の氣分の彌漫等に依て愈々深刻化せり。

斯の如き不況の傳播と深刻化は、其程度と範圍に於ても世界的にして國際的

四五

に發生したるものなるが、抑も其發生は主として英國以外、むしろ歐洲以外の地に初まりたるものなり。而して、吾英國は、海外諸國との貿易を以て主要の通商と爲すが故に、之等の海外諸國に於ける市場の恐慌に依て被りたる影響は彼の自給自足なる歐洲の諸國よりも遙かに速かにして且つ大なるものあり。然れども今や凡ゆる國々皆大小の影響を受け、中には英國以上の打撃を受けつゝある國々あり。

世果列國を通じて關稅の牆壁を高めたる事も英國輸出貿易をば全體に窮境へ陥れたるが、之等の困難は、吾英國が、歐洲戰爭交戰國中、獨り其通貨をば戰時戦後の低落したる價格水準より、戦前の舊平價へと復歸せしめたる事實に依て、吾輸出貿易に更に大なる蹉跌を生ぜしめたるものなり。斯の如き蹉跌の爲め吾重要産業は海外市場に於て其立場を失ひ、しかも斯くして被りたる損失は到底他種企業の新規發達に依つて、相償はれ得ざるの有様にある。

五、國際聯盟金問題調査特別委員會報告書

一、金問題調査特別委員會の使命並に組織

一九二八年十二月十四日及び一九二九年六月十七日の國際聯盟總會の決議に基き、財政委員會は同委員中の數名と世界的權威ある専門家數名を以て特別委員會を組織し、『金購買力變動の原因並に國民經濟生活に及ぼす其の影響に就て調査報告』せしむることとせり。

右特別委員會委員の氏名左の如し。

アルバート、ヤンセン

(委員長)白耳義ルーヴエン大學教授、前白耳義大藏大臣、前國

立銀行理事

エム・ゼー、ボン

伯林大學教授

グスターフ、カツセル

ストツクホルム大學教授

コムト、ド、シヤランダー

佛國アツシユランスゼネラル生命保險會社專務取締役前佛國駐

英大使付財務官、前銀行検査官

サー、レチナルド・マント 印度參議院議員、一九二五—二六年度通貨財政調査會委員
 ドクター、フエリツクスム・リヤルスキー ワルソー商科大學教授、前波蘭銀行副總裁
 ドクター、グイレム・ボスピシル チエツコスロバキア國立銀行總裁
 エム・ダブリユ・スブレーグ 英蘭銀行顧問、前ハーバート大學教授
 サー・ヘンリー・ストラコツシユ 倫敦ユニオン、コーボレーシヨシ重役會長兼取締役
 ドクター、ゼー・エトリツプ 前シヤワ銀行總裁前和蘭大藏大臣
 アルベルト・ベネヂユース クレヂット、インスチチユート・フオア・パブリツク・ウア
 ークス會長
 チョーヂ・イ・ロバーツ 紐育ナシヨナル、シチー銀行副頭取

二、金問題調査特別委員會中間報告

『金購買力の變動に就て』の概要

(一) 調査事項

特別委員會の任務は未だ完了せざれども其調査の一斑に付、中間報告を爲すを可なりと思惟

せり。特別委員會は金購買力が長期又は短期に變動する場合及び金産額と物資の生産並に交易の常態的增加との不均衡其他の原因に基く變動等凡ゆる場合を攻究し、弘く金購買力の變動問題を調査することを期せり。金購買力の長期間に亘る變動と短期間に於ける變動は、其間勿論幾分の關聯は存すれども、兩者は各別異の問題を生せしむるものなり。然れども茲には前者の場合、即ち長期に亘る金購買力の變動に就てのみ考察することとせり。

(二) 金の供給

現今世界に於ける金の年産額は約四億弗にして、今後三、四年間は尙幾分の増産を見るべきも十年間に於ける公式半公式の生産見積書並に貴金屬統計の泰斗ジョセフ・キツチン氏(Joseph Kitchin)の非公式見積書に徴すれば、今より三、四年後に於ては金の年産額は漸減することを示し居れり。

一九二八年末に於ける諸發券銀行並に國庫の保有金準備額は約一〇、〇三五、〇〇〇、〇〇〇弗なるが、此外少數の國に於ける流通金貨、商業銀行及び一般個人の貯藏金推算額は亞細亞を除き約九一五、〇〇〇、〇〇〇弗あり、合計約一〇、九五〇、〇〇〇、〇〇〇弗の金存在せりと看做されたり、然るに一九二九年末に於ける金準備額は概算一〇、四二五、〇〇〇、〇〇〇

○弗にして其他のものを加算せる金の總額は一一、一七五、〇〇〇、〇〇〇弗なるを以て、十二ヶ月間に約二二五、〇〇〇、〇〇〇弗の金増加ありたる計算となる。

(三) 實際の金準備

多數の金本位國より蒐集せる統計に依れば、一九二八年末の紙幣並に二覽拂債務の合計額は二四、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗にして之に對する法定最低準備率は二九%乃至四%なるが實際の正貨準備率は平均四〇%を超過し居れり。若し此實際の正貨準備率を以て常態なりと承認し、且つ中央銀行が法規に遵つて其準備を正貨並に外國資産に分割保有したりと假定すれば所要正貨準備率は平均約三二%にて足る計算なり。

右の例證は今より匡救策を講じ置き、商況恢復と共に又は其直後に起るべき重大なる事態に備ふる要あることを示さんが爲なり。現在世界金産額の過半を占むる南亞金産は次第に涸渇する傾向に在る故、新に豫想外の鑛源發見せられざる限り、一九四〇年以降の産金額は遞減の外なき情勢に在り。

金の分配問題も亦重要なものにして、之を左右する幾多の原因に就ては、進んで研究を要するものあり、少數國の過當なる金爭奪、又は多額の貨幣金死藏が金の偏在に交渉ありとせば此金

爭奪及び死藏は一般物價平準に惡影響を及ぼし、重大の結果を齎す事を指摘せざるべからず。

(四) 米佛兩國の金貯藏

近年金の移動は顯著にして、一九二九年中の米佛兩國に於ける金準備増加額は約五四〇、〇〇〇、〇〇〇弗に上りたるが、其内約一四〇、〇〇〇、〇〇〇弗は商業銀行並に個人の貯藏金より受入れたるものゝ如し。又一九二八年十二月三十一日前三ヶ年間に主要十ヶ國は、此間の新産出金中約九〇%に當る一、〇五五、〇〇〇、〇〇〇弗を獲得せり。

歐洲大戰時中並に戰後種々の事由に基き減退を示し居たる金準備に異常の金移動起りたるは斯く少數の國が金を獲得せる結果なるも、右は又現に世界の苦しみつゝある經濟力の不權衡より來れる必然の結果とも見るべきなり。從て新産金額の減退に伴ひ金を有効に分配するの問題が、今後益々重要性を帯ぶべきは否む可からざることなるが、今や過去數ヶ年に於て金移動に作用したる特殊原因は漸次其力を失ひつゝあれば、各國の理解ある協力を依りて金の分配問題が能く解決せらるべきは疑ひを容れず。

(五) 金不足の對策

上記の諸事情に照せば今後の物價傾向に就き不安なきを得ず。今金分配問題の検討は暫く措

き、此不安より生ずる結果の匡正策に就き、今後十年間の對策を述べれば左の如し。

金不足の對策としては數多のものがあるが、若し近來の如き重要な貨幣制度の改革なかりせば、金不足に基く吾人の苦惱は、現在更に深刻のものありしなるべし。從來實行せられたる貨幣制度改革中、最も重要なものは、一般の支持に依り國內通貨としての金貨使用を廢止せることにて、金の代りに紙幣を國內通貨とするも、其國の信用組織が毫も損傷せられざりしは吾人の良く識る所なり。

貨幣政策の當事者は右の如き幣制改革を爲したる一方準備金を集中して、之を直接其管理の下に置きたる結果、職務の遂行を簡易化するを得たり。換言すれば、發券銀行は毎週又は毎月の通貨需要高の推移を容易に看取し得る外、有害無益の民間流通金貨及び貯藏金を有利なる貯蓄金に振向けしめ、又貨幣用金の現在高を知ることにより、金の需要に對し供給し得る程度を判定し得るに到れり。

貨幣用金が中央銀行の準備金に集中せられ、其用途を國際決済にのみ限局するの日は遠からざるべく、今尙金貨を國內取引に使用し、若しくは商業銀行の庫中に貯藏する國も同様の改革を爲すべきは信じて疑はず。而して斯くするも金貨と金證券との間には、實質上全く相違なき

を確認するものなり。

金證券は一種の倉荷證券にして、證券面に一定額の金を引渡すことを記載せるものなるが故に、之を使用すれば、金の磨滅損耗を防止する外其現在高をも常に確知し得る利益あり、尤も生産交易の増大に伴ひ金準備を増加するの必要あるも、金證券其ものは新なる信用を創設するものに非ず。斯の如く流通金貨、金證券の準備金及び商業銀行の保有金等が、發券の機能に従て活用せらるゝ時は金の節約は極めて大なり。

(六) 最低金準備率

然るに中央銀行又は其他の發券當局が金を準備として集中するも、之を節約し得る程度は他の條件、就中、準備規定の如何に係る所多し。何となれば紙幣發行高並に一覽拂債務に對する準備率は事情に依り各國區々に之を定め居ればなり。

金準備に關し普遍的規定を設くることは困難なるが、今日の法定最低準備率は斯る考慮の下に定められたるに非ずして、概ね傳統、慣例、或は常套を無視し通貨の信用を毀損することを虞るゝ立法者の意思に據りて定められたるものなり。斯くして定められたる最低準備率は、常に在りては決して其極限に下るが如きことなかるべく、假令特殊の事情に依りて最低率に達

するが如きことあるも、金（又ハ外國資産）と此法定最低準備率との間には、相當の開きを有する方法が講せらるゝ事多し。即ち法定最低準備率は信用の擁護を主要機能とするものにて、實際の運行は最低準備率に據らず、金又は直ちに之に代はるべき資産を加へて、相當の餘裕を存するを常とす。然るに最低準備率は前述の如く多くは慣習に依りて定められたるものなるが故に、若し現在の最低準備率を更に引下ぐる時は、大に金を節約し得べく、之が爲めに一般信用組織を薄弱ならしむるが如きことなしと信ず。

叙上の如く準備率が主として慣習に基ける點より稽ふに或一國が單獨に準備率を引下ぐる時は、其國の通貨の信用を毀損することなきを保し難し。從て多數の國は之が實行に先ち國際的諒解を求むべく、而して此國際的協調は必ずしも至難なりとは思せず。蓋し其實行に先ち商議を要する國の數には自ら限りあり。且つ準備率の引下の可能なることは既に一般の認むる所なればなり。而して巨額の金準備を保有する有力國が十數ヶ國も本協調に参加するに到らば、爾餘の諸國も亦之に倣ふべきは必然なり。

但し最低準備率を法定せずして、保證發行の最高額を規定する國に在りては、其限度を擴張すれば、同一の効果を收め得るが故に、斯る國に對しては敢て制度の改正を懲慫せざることを

茲に附言す。

（七）金の節約策

前記の如き法律の改正が行はるゝ時は、各中央銀行は互に理解して保有準備金の準備率を機宜に引下ぐべきは瞭かなり。尤も金準備率を法定最低準備金と過剩準備金とに分つのみにて、準備充當額が其儘ならば、現下の情勢は緩和せられざるべし。

尙、小切手、振替郵便等の利用を擴め、手形交換所の機能を改善すれば、金の節約を輔くること亦大なり。小切手に印紙税を賦課する爲め其利用が發達せざる國に就ては、其課税由來の詮議は暫く措き、之等の國の政府當局が速かに課税其他の障礙を除去して、小切手の利用發達に努力あらんことを勸奨す。

更に又小額紙幣の代りに補助硬貨の使用をも推奨す。小額紙幣が使用せられしは、主としてインフレーションの偶發的結果にして、貨幣價值下落に伴ひ、高額紙幣も亦、一般に流通使用せらるゝに到れるが、其結果は、高額紙幣の金準備並に小額紙幣の原價に負擔を加重せしめたり。故に小額紙幣の代りに補助硬貨を使用すれば、金の需要を節約するのみならず、該紙幣の原價にも多大の節約行はるべし。但し斯の改革を實行するに當りては、補助貨と其他の支拂用

具との間に適度の權衡を維持せしむる要あるは勿論なり。

五六

(八) 金爲替本位

右の如く種々の對策を擧げたる所以は今後の形勢重大なりと云ふも、國際協調に依りて鞏固の貨幣政策を樹つる時は、此難局の打開は必ずしも途なきに非ざることを指示せんが爲めなり而して此等の對策中の何れを實施するも、其對策が實勢に適合すること及び節約金を以て物質の生産並に交易の常態的增加の必要以上に信用を擴張せざること等に意を用ふること最も緊要なり。

此等の建設的對策に加ふるに未だ通貨の安定せざる國の影響をも考慮するを要すべし。近年所謂金爲替本位制度を採用せる國尠からず。而して此制度は金の使用を節減せる外、銀準備を棄て、金本位制を採用せる國が増加せる爲め、激増せる金の需要をも大に緩和したり。故に未だ通貨の安定せざる國又は貨幣法を改正せんとする國に於て、此金爲替本位制度を採用せば効果大なること疑なし。

終りに多額の準備外國資産を金に換ふる結果に付、各國の注意を喚起せんとするものなるが金爲替本位國に於ては、殊に此點を反省する要ありと思惟す。金爲替本位制の適用を誤る時は

インフレーションを齎すべしとして、一部には該制度の擴張を批難するものあるが、準備となる外國資産が原則として中央銀行に集中せらるゝ時は、此危険は大に除去し得らるべしと確信す。尙通貨維持の爲め外國の保有する準備は戰時中、之を抑留又は沒收せずとの國際協定が成立する時は、本制度の信用を確立し得ること極めて大なるべし。

三、金の統計表

(一) 金産額豫想表

(二) 金の節約なき場合に於ける貨幣用金需用見積表

(三) 主要國金與備保有高表

(一) 金産額豫想表

(單位百萬弗)

年別/國別	南亞	加奈陀	米國	濠洲	印度	其他	以上計	キチン氏見積額
一九三〇年	二二・七	四〇・三	四二・八	一一・二	七・六	九・一	四〇・五	四〇・四
一九三一年	二〇・七・三	四〇・九	四二・二	一二・四	七・五	九・一	四〇・一	四〇・二
一九三二年	二二・三・二	四一・五	四二・五	一二・三	七・五	九・一	四〇・七	四一・〇
一九三三年	二〇・六・八	四二・一	四二・〇	一二・九	七・三	九・〇	三九・九	四〇・七
一九三四年	一九・八・一	四二・八	四〇・三	一二・七	七・三	九・〇	三九・〇	四〇・三
一九三五年	一八・九・八	四三・四	三八・九	一二・四	七・二	九・〇	三八・一	三九・八
一九三六年	一六・六・七	四四・〇	三七・三	一一・二	七・一	九・〇	三五・六	三九・七
一九三七年	一六・七・四	四四・七	三六・七	一〇・九	七・〇	九・〇	三五・七	三九・二
一九三八年	一六・七・四	四五・三	三六・五	一〇・七	七・〇	九・〇	三五・七	三八・四
一九三九年	一三・三・七	四五・九	三六・三	一〇・五	六・九	九・〇	三四・四	三七・〇
一九四〇年	一三・四・一	四六・五	三六・一	一〇・三	六・八	九・〇	三四・四	三七・〇

(二) 金の節約なき場合に於ける

貨幣用金需要見積表

(單位百萬弗)

年別	豫想金産額	貨幣外金需要額	差引貨幣用金供給額	金準備繰入必要額			貨幣用金供給過不足				
				金準備率を3%とし紙幣一覽拂債務の増加	金準備率を4%とし紙幣一覽拂債務の増加	金準備率を5%とし紙幣一覽拂債務の増加	金準備率を3%とし紙幣一覽拂債務の増加	金準備率を4%とし紙幣一覽拂債務の増加	金準備率を5%とし紙幣一覽拂債務の増加		
一九三〇年	四〇・四	一八・〇	二二・四	二六・七	二五・三	二〇・〇	三〇・三	(十)五七	(一)三九	(十)三三	(一)七九
一九三一年	四〇・三	一八・二	二二・一	二七・〇	二六・〇	二〇・四	三〇・三	(十)五〇	(一)四〇	(十)二六	(一)九三
一九三二年	四一・〇	一八・四	二二・六	二七・四	二六・九	二〇・九	三〇・三	(十)五二	(一)四三	(十)一七	(一)九七
一九三三年	四〇・七	一八・六	二二・一	二七・六	二七・六	二二・三	三〇・三	(十)四三	(一)五五	(十)一八	(一)一一
一九三四年	四〇・三	一八・八	二一・五	二八・〇	二八・五	二二・七	三〇・一	(十)三五	(一)七〇	(一)二二	(一)二六
一九三五年	三九・八	一九・〇	二〇・八	二八・四	二九・四	二二・一	三〇・二	(十)三四	(一)八六	(一)一三	(一)二四
一九三六年	三九・七	一九・二	二〇・五	二八・八	三〇・二	二二・六	三〇・三	(十)二七	(一)九七	(一)一三	(一)二五
一九三七年	三九・三	一九・四	一九・九	二九・二	三一・一	二三・〇	三〇・三	(十)一六	(一)二三	(一)一三	(一)二五
一九三八年	三八・四	一九・六	一八・八	二九・六	三一・一	二三・五	三〇・三	(十)一八	(一)二三	(一)一四	(一)二七
一九三九年	三七・〇	一九・八	一七・二	二〇・〇	三三・〇	二四・〇	三〇・三	(一)二八	(一)二五	(一)一六	(一)三三
一九四〇年	三七・〇	二〇・〇	一七・〇	二〇・四	三三・〇	二四・四	四〇・八	(一)三四	(一)二七	(一)一七	(一)三三

(三) 主要國金準備保有高表

(單位百萬弗)

國名	金準備		中央銀行券及 一覽簿債務		金準備率%		準備率三三% の所要金		同上準備率に依 る過(+)不足(-)		準備率四〇% の所要金		同上準備率に依 る過(+)不足(-)	
	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年	一九二八年	一九二九年
獨逸	六六〇	五九〇	一、五九一	一、五〇〇	四・二	三六・八	五・三	五・七	(十二)五三	(十五)五三	六六	六〇八	(十五)〇	(一四)八
伊太利	二六六	二七五	一、〇〇〇	九九一	二・五	二七・五	三・〇	三・〇	(一八)五	(一七)五	四三	三九六	(一二)五	(一二)三
西班牙	四九四	四九五	一、二〇〇	九七〇	四・一	五・〇	三・三	三・三	(十二)三	(十二)三	四八	三八八	(十)八	(十)七
佛國	一、二四七	一、三三二	三、二〇〇	三、四四二	三九・〇	四七・四	二・四	二・四	(十二)八〇	(十)四四	二八〇	二七七	(一)三	(一)五
英國	七四九	七二一	二、五四二	二、五八〇	二九・三	二七・六	八・四	八・〇	(一)四九	(一)四九	一〇八	一〇三	(一)七	(一)三
米國	三、七九三	三、九一〇	六、五四六	四、四〇〇	五七・一	六〇・六	二・八	二・八	(十二)七三	(十二)七三	二六二	二五八	(一)三	(一)三
亞爾然丁	四七三	四〇五	五九	五〇	七九・九	九四・一	一・七	一・七	(十二)五	(十二)五	三七	三〇	(一)六	(一)〇
日本	五二一	五四二	一、〇三二	一、〇七一	五二・九	五〇・六	三・四	三・七	(十二)〇〇	(十二)八五	四九	四八	(十二)三	(十)四
濠洲	一〇九	八九	二三二	二〇八	四九・一	四一・一	七・四	六・九	(十)五	(十)〇	八九	八二	(十)〇	(十)七
小計	八、六八六	八、六〇六	二七、八七二	二七、七三〇	四六・四	四八・五	五・九	五・九	(十二)三六	(十二)三六	七二	七〇	(十二)五	(十二)四
白耳義	三六	一三三	三七一	四六	三〇・〇	三〇・二	二・四	二・四	(十一)一	(十一)一	一四	一五	(一)三	(一)三
和蘭	一七五	一八〇	三七一	三六〇	四七・二	五〇・〇	二・四	二・〇	(十)五	(十)六	一四	一四	(十)七	(十)六

瑞西	一〇三	一二五	三三二	二二二	四六・四	四六・六	七・四	七・	(十三)九	(十三)六	八九	九二	(十二)四	(十三)三
加奈陀	一九一	一五二	一九三	一八八	九・〇	八・三	六・四	六・三	(十二)七	(十八)八	七	七五	(十二)四	(十七)六
伯刺爾	一四	一五〇	四七	三六	三六・六	三六・九	一・三	二・九	(十二)三	(十三)二	一三	一四	(一)四	(一)四
印度	二四	二六	六九〇	六五五	一八・〇	一九・五	二・〇	二・八	(一)二	(一)六	(一)九	二六	(一)二	(一)二
小計	八八	八七	二、五五二	二、五五	三・五	三・三	七・五	七・五	(十二)六	(十二)四	九〇	九〇	(一)三	(一)六
合計	九、二五九	九、四三二	二〇、二一九	二〇、二九九	四五・五	四七・五	六・七	六・六	(十二)四	(十二)三	八〇	七九	(十二)三	(十二)四

國同調査資料パンフレット

財界動搖善後策早わかり <small>(歐米恐慌對策實例十一モラトリアム略例)</small>	菊二五頁	十錢
諸外國銀行監督及預金者 保護に關する法制參考資料	菊三二頁	二十錢
世界の生糸及人絹調査資料	菊四六頁	二十錢
農村振興としての蠶糸業根本救濟策	菊六〇頁	二十錢
財界振興即効案 <small>(不始末なる政府預金の整理によつて)</small>	菊二六頁	十錢
大藏省伏魔殿預金部内容 <small>(附華佛大藏省預金部の制度)</small>	菊二八頁	十錢
ブラジル事情	菊六一頁	二十錢
軍人優遇論	四六頁 一七〇頁	三十錢
國家に貢獻するものは少數黨か多數黨か	菊一六頁	十錢
歐米各國に於ける公民教育制度	菊五四頁	二十錢
我國勞働時間季節的調節案 <small>(我國工場法改正の必要)</small>	菊五八頁	二十錢
社會より見たる新聞の使命	菊六六頁	二十錢
保健上より見たる深夜業廢止と其限界點に就て	菊八〇頁	三十錢
歐米に於ける市政淨化運動	菊五三頁	二十錢
都市計畫の一般智識	菊五五頁	二十錢
佛蘭西好景氣の研究	菊一五頁	十錢
英國不景氣の研究と對策	菊一四頁	十錢
マンチエスター商人の舊平價金本位制撤廢運動	菊一頁	十錢
歐米に於ける大規模商店に對する小規模商店 の對抗競争實策	菊五九頁	二十錢
全と物	四六頁 四三二頁	十錢
金解禁やり直し反對論總まくり	四六頁 四三六頁	十錢
金輸出禁止國スペインの經濟事情	菊三九頁	二十錢
金解禁善後處置とは何か	菊六二頁	二十錢

金解禁善後處置とは何か

不許複製

昭和六年四月十九日印刷
昭和六年四月二十五日發行

定價二十錢

發行所	印刷所	編輯兼發行人
大藏省 東京市麹町區永田町二ノ一 國民同志會	大藏省 日本印刷製本株式會社	大藏省 國民同志會調查部代表者 八木幸吉

終

